

キバナハナネコノメ *Chrysosplenium album* Maxim. var. *flavum* H.Hara

【評価理由】

個体数階級 1、集団数階級 1、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 4、総点 11。本地域に固有の植物である。

【形態】

小型の多年生草本で、高さ 5~10cm になる。地上性の走出枝があり、走出枝は花後に成長し、白軟毛を密生する。根出葉は花時に枯れる。茎葉は扇状円形~円腎形で長さ 2~10mm、幅 3~16mm、基部は鈍形またはくさび形、上縁には 5~9 個の半円状の鋸歯がある。花期は 4~5 月、集散花序を頂生し、直径 3~5mm の花を少数つける。がく裂片は 4 枚、黄色で花弁状、長卵形で長さ 3~5mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (芹沢 86700, 2011-4-10)、2 豊根 (村松正雄 25749, 2011-5-7)、3 東栄 (村松正雄 25625, 2011-3-31)、4 津具 (村松正雄 25614, 2011-3-31)、6 設楽西部 (石川静雄 122, 1996-4-17)、7 設楽東部 (小林 50760, 1994-4-24)、10 鳳来北西部 (小林 41622, 1993-4-22)。西：5 稲武 (村松正雄 25730, 2011-4-30)、19 旭 (芹沢 72759, 1996-4-12)、20 足助 (芹沢 86739, 2011-4-24)。

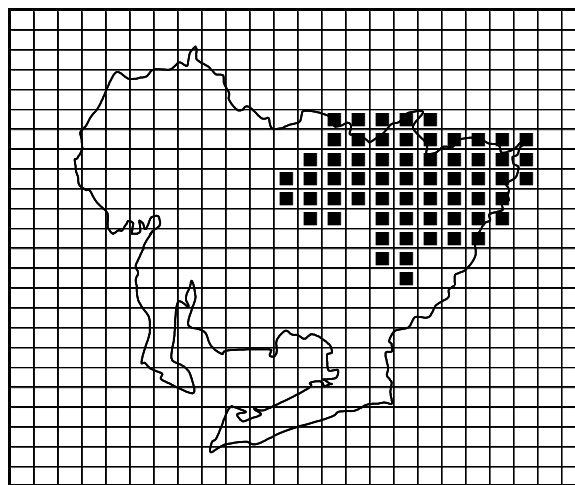
【国内の分布】

本州。東海地方 (静岡県、愛知県、岐阜県) だけに分布する。

【世界の分布】

種としても日本固有で、西南日本に分布し、いくつかの地理的変種に分化している。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の沢沿いの岩上に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

愛知県での分布は、東三河とそれに接した西三河の一部に限られているが、その範囲内では少ないものではなく、まだあちこちの沢で見ることができる。しかし、森林の伐採や林道建設等に伴う沢すじの荒廃により、全体として減少傾向にある。

【保全上の留意点】

すぐに絶滅が危惧される状態ではないが、貴重な植物であることを認識する必要がある。

【特記事項】

ネコノメソウ属の中では、小型であるが花の目立つ植物である。

【関連文献】

保草本Ⅱ p.143, 平草本Ⅱ p.160, 平新版 2 p.203, SOS 新版 p.22,24.